

企業の危機管理広報のポイント

～ 最近の事例を踏まえて ～

桐蔭法科大学院教授・弁護士（元検事） 熊田彰英

1. なぜ危機管理広報は大切なのか？

- 年々、企業に対する消費者、当局、マスコミの目は厳しくなっている
- 不祥事発生時の対応如何によって信用・信頼が左右される
- 会見・コメントから企業の姿勢・経営陣の考え方が透けて見える
- 企業の危機管理体制と役職員の対応能力が試される

2. 危機管理広報の実例① ～A社の事例に学ぶ～

- 発覚当初のコメントの問題点
- 過熱する報道と捜査当局の動き
- 役員辞任の理由・必要性
- 事件処理を見通す大切さ

3. 危機管理広報の実例② ～B社・C社の事例に学ぶ～

- 発覚当初の会見の問題点
- 過熱する報道と追い込まれる企業
- 行政当局の厳しい姿勢
- 国民（消費者）目線の大切さ

4. 危機管理広報の留意点

- タイミング（情報の隔離・隠蔽に注意）
- 誰 or 何を意識するか（利害関係は様々）
- いかなる影響が生じるか（広報の目的は何か）
- アピールは必要か（案件の内容は何か）